

喜多龍一十勝連合後援会
〒089-0533
中川郡幕別町内新北町74番地16
TEL/0155-56-7755
FAX/0155-56-7766
発行責任者/千葉 幹雄
発行日/令和2年1月7日
<http://www.kitaryu.com>



RYUICHI KITA DOUSEI KAWARABAN No.24

道政かわら版

迎春



2020
新年あいさつ

北海道議会議員
喜多 龍一

明けましておめでとひざむ。

平成から令和の時代を迎へ、新しい世に期待する一方、明治は遠くなりにけり、と離したてた昭和生まれの者として感慨深く新年、令和二年を迎へました。

昨年は、私の七期目の当選をさせていただきました。これも一重に後援会の皆さんはじめ、十勝の多くの皆さんとの温かいご指導と力強いご支援があつたればこそのことと、心から感謝しております。有難うございます。

改選後の議会において、平成二十九年十一月に設置した北海道地方路線問題調査特別委員会（JR北海道の事業範囲の見直し、すなわち路線の見直し問題）が設置継続となり、前期に引きつづき、委員長に就任しました。異例中の異例のことになりますが、北海道の将来を左右する事案であり、人の足のみならず、貨物の道内外への移出・移入の両面で絶対に守らなければならぬ最重要課題であり、責任の重さを噛みしめながらも、お引き受けした次第です。

そして、昨年は十一年に一度巡つて来る統一地方選挙と参議院選挙の年、言わゆる選挙イヤーでした。

知事も変わり、北海道地方区から高橋はるみ前知事と岩本剛人前道議の二名当選を果たすことができ、三年前の一人落選の雪辱を果たすことが出来ました。今後のお二人の

頑張りに期待をしたいと思います。

管内の動向については、基幹産業の農業は春の異常に高温と六～七月の雨と低温で心配されました。全作物が概ね出来秋を迎えたことは朗報でした。一方で秋鮭の四年連続不漁の他、さんま、イカ、昆布など大不漁により、無理の末遠く太平洋公海で十勝のさんま船の海難で、信頼篤く漁協系統の指導者として嘱望されていた船主花川慶一様はじめ八名の尊い命が奪われてしましました。心からご冥福を祈ります。

近年の風倒木被害、台風被害や海水温度が上がり鮭が戻れず南の魚がとれるなど、地球温暖化による異常な気象変動の影響がひたひた忍び寄つてくる感じがしてなりません。

今期水産林務委員会に所属しましたが、水産の太平洋対策、道東対策をたてる計画となつてあり、しつかり取り組んで参ります。

また、日米貿易協定による農畜産物の生産減少額は、全国で最大1,100億円、北海道で最大約371億円、日米貿易協定とTPP11を合わせると全国で最大約1,619億円、北海道で約496億円とされています。

特に最終的に現行38.5%の関税が十五年目に9%に引き下げる牛肉は、道内生産の乳用種が六～七割を占め、米国産牛肉の価格が低下することにより、肉質面で競合する乳用種や交雑種(F1)を中心と想定以上の影響が懸念され、また牛乳乳製品の全国の生産減少額最大約276億円のうち北海道は約250億円、92%を占めるなど、本道への影響が大きいものとなつております。

今後、価格の動向を注視するとともに、体质強化策や経営安定対策等にしつかり取り組んで参ります。

去年九月には高速道路の音更町の（仮称）長流枝スマートインターチェンジが準備段階調査に採択され、農地の排水対策等についても着々と国や道の新規事業準備が進められています。

また働き手不足や省力化等にも対応する、高性能林業機械や一トやA-I（人工知能）を活用したスマート農業をはじめとする産業分野でのスマート化、技術革新の取り組みは、十勝を実験場として昨年随分と前にすみ、大樹町の宇宙産業基地構想を含め、十勝が近未来技術のパイオニアとしての地歩を進みつつあります。

今年は更に前へ進めていきたいと私が代表世話人となり道議会自民党に、昨年十月に「近未来技術、及び宇宙産業研究会」を立ち上げました。

今、人口減少社会に立ち向かい地方創生の取り組みが求められる中、厚生労働省が、地方の命綱である国保病院等公的病院の存廃に関わる、検討を地方に求めるという暴挙を突如表明し、地方の不安と反発を受け、改善策を検討してくれとトーンダウンさせましたが、地方なくして日本国や都会が成り立てるのか、食糧、水、電力はすべて地方がまかなつてているじゃないか、どちらがではなく地方と都市がお互いに尊重し、敬意をはらう態度が大切で、そこから必要な施策も出てくると思います。そんな議論のスタートの年だと思います。

本年も変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さんにとり、良き令和二年となりますよう念じ、年頭にあたつてのご挨拶と致します。

2019年
新聞記事

十勝毎日新聞 平成三十一年二月二十八日

知事選候補振り出し

自民道連、再度意向を確認

【札幌】道知事選(3月21日公示、4月7日投開票)に向け、自民党道連は27日、札幌市内のホテルで役員会を開き、調整が難航している候補者選定をめぐり協議した。鈴木直道・夕張市長(37)、和泉晶裕・国土交通省北海道局長(57)から改めて、所属国会議員、道議会議員が、それぞれ出馬の意向などを確認する場を設けることを決めた。小畠保則幹事長は「ゼロベースでもう一度意見を聞いて選ぶ」とした。

統一地方選
2019



◆自民党内の道知事選候補選考をめぐる相関図

22日には党道連の吉川貴盛会長が「鈴木氏に一本化したい」と表明したが、和泉氏を推す道議有志や経済界が攻勢を強めたため、発言は事実上撤回された形になつた。

道内関係の国會議員による同党北海道ブロック両院議員会と、同党道議会派の議員総会で、それぞれ鈴木氏と和泉氏を個別に呼んで、北海道に対する思いや考え方を今週末にも聞くことにしている。

十勝毎日新聞 平成三十一年二月三十日

信頼に応えたい



喜多龍一さん(67)=自・当⑦

JR北海道の問題。地方路線をどう守っていくかが課題で、道議会が推進力にならなくてはいけない。来年度はJR東日本による周遊観光列車が運行するが、路線が分断する線区をどうするかの議論も出てくる。

十勝の交通ネットワークの課題は、道東・十勝の喫緊の大きな課題と見える秋サケ資源の回復、需給バランスを踏まえた攻めの林業に取り組むため、道議会は急に支援を賜りますようお願い申し上げ年頭に当たつてのご挨拶とさせて頂きます。

北海道新聞 平成三十一年三月一日

道東道4車線化を

喜多氏が事務所開き

道議選十勝管内

7選に向けた決意を述べる
喜多龍一氏

【幕別】4月の道議選十勝管内(定数4)に7選を

目指して立候補を予定して

いる自民党の現職、喜多龍一氏が事務所を開き、道議選十勝管内

で事務所開きを行った。

喜多氏は、道政の最重要課題として道東道の4車線化を挙げ、「道内の暫定2車

線区間で最も重要な路線。

果たさなければならない役割がある」と強調。外国人労働者の受け入れ態勢整備

の重要性も示し、「人手不足は顕著だ。北海道は安心だと思ってもらえるように整備を進めることができ、産業や地域の振興につながる」と訴えた。

千葉幹雄後援会長は「7

回目の選挙で、政治家としての評価、実績が問われる

戦いになる」と述べ、支援

を求めた。(広田まさの)

おめでとうございます。

皆様方にちは令和になつて初めての新年をご家族お揃いでお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は何と言つても平成から令和に改元され新しい天皇陛下の下、

新時代の幕明けの記念すべき年となりました。

喜多道議にとりまして七回目の選挙の年でもあります。

無投票当選ではありますましたが七期連続で道議会に送る事が出来ました。これもひとえに皆様方のお蔭と心から感謝申し上げます。

後援会の皆様、新年明けまして

おめでとうございます。

後援



喜多龍一のホームページも是非ご覧ください。
<http://www.kitaryu.com>



2019 参院選 高橋はるみ



統一地方選挙 喜多龍一 万歳



統一地方選挙 喜多龍一 出陣式



なつぞらロケ地 北広牧場



広尾町農村運動会



十勝獣医師会定期総会



大樹後援会新年交歓会